

EP 大学 心電図検定対策問題集

新井 陸(監), 築島直紀(編)

EP 大学・北里大講師・循環器内科学

深谷英平

EP 大学スピリット系実戦問題集

心電図検定の対策本は数多くありますが、「どれを直前の一冊にするか」で迷う方は多いと思います。本書『EP 大学 心電図検定対策問題集』は、まさに“解いて身につける”ことに特化した実戦型の問題集です。基本事項の整理から始まり、本番を意識した問題と丁寧な解説がコンパクトにまとまっており、忙しい臨床医やメディカルスタッフでも、合間の時間でコツコツ進められる構成になっています。

各問題には要点が端的に示され、心電図検定で狙われやすいポイントが自然と頭に残るよう工夫されています。同じ病態でも波形のバリエーションが用意されているため、「1 回読んで終わり」ではなく、何周か回すことで読解パターンが鍛えられる点も魅力です。心電図検定 1・2 級対策としては、難易度と分量のバランスがちょうど良く、「模試+解説集」のような感覚で使える一冊だと感じました。

本書のもう一つの特色は、X 上で日ごろから心電図を語り合っている先生方・メディカルスタッフの皆さんが中心に執筆されている点だと思います。良い意味で「EP 大学スピリット作品」的な距離感があり、EP 大学の空気感や学びのスタイルを共有しながらも、受検者目線で「ここが知りたい」「ここですみずく」というポイントに丁寧に寄り添っている印象です。

そのため、不整脈・電気生理専門医向けのディープな議論を期待するというよりは、「心電図検定の合格ラインをしっかりと押さえたい」「自分の読み方に抜けがないかチェックしたい」というニーズに非常によくフィットします。すでに臨床で心電図を読んでいる方にとっても、何となく感覚で読んでいた部分を言語化・構造化して整理し直すのに役立つでしょう。

本書はあくまで「問題演習を通して仕上げる本」であり、その立ち位置をきちんと理解して使うことで真価を発揮するタイプの参考書です。

総じて、最近の“X 心電図界限”のコミュニティ文化に親しみを感じている方はもちろん、楽しみながらも実戦力をつけたい心電図検定受検者にとっても薦めやすい一冊だと感じました。著者の皆さんとは X 上で日ごろから交流のある立場ではありますが、一人の心電図好きとして、率直にそう思える内容でした。



●B5/頁 248/2025 年
定価：3,960 円
(本体 3,600 円+税 10%)
[ISBN978-4-260-06259-6]
医学書院 刊